

- [ ] ●優先賞じゃないということです。
- [ ] そうなんです。ですから、このアジア太平洋賞というのが、ちょうどそれに値するんじゃないかと思います。
- [ ] 芸・文だとひっかかります。でもそちらで問題にしていらっしやらないから通ったんでしょうね。
- [ ] 実は今回は最初から取れるものと思ったものですから、この枠を基本的に考えておりました。
- [ ] 質問よろしいでしょうか。学術研究賞の方は（１）（２）と２つのパターンが書いてあるんですけど、上のパターンだと大賞がある場合ということで、その次点に [ ] さんが入ってないんですけど、（２）の場合は [ ] さんが１位で入っているわけですね。その考え方はどういうふうなことなんですか。
- [ ] [ ] さんより中国の [ ] さんが大賞にふさわしいのではないかとということなんです。そっちを重視したという。 [ ] 先生はともかく日本でありますから、久しぶりに日本からも与える番かなと、そういうことがあったように記憶しておりますが。
- [ ] 優先順位ということではなくて。
- [ ] じゃなくて。やはり大賞と普通の賞、ちょっと我々は区別して考えて。
- [ ] 区別して考えてある。取れなきゃ、取れなかったら、もうしようがないと、こういう感じですか。
- [ ] 例えば、今、大賞をどなたかに決めて、その方にお声かけして、来れない場合に、その１位の候補が、例えば [ ] さんで来れないから [ ] さんとか。どういうふうに大賞候補を、大賞候補は今年は学術、文芸と決めたら、その中で１位、２位という次点にするんでしょうか。
- [ ] その辺も議論しておきたいですね。
- [ ] それはもういろんなパターンを考えなければいかんでしょう。
- [ ] 大賞枠というのは１名しかありませんから、ただ、この１名枠に対して１名だけ候補として挙げておっても、それは来れない場合があるわけです。だから、ちょっとお願いしたいのは、１名枠に対して＋２名、特に今回は来れない可能性の方もいらっしやいますから、＋２名で順番をつけていただきたいと思っております、今、大賞候補が４名挙がっていますので、この中の１、２、３までを候補として挙げていただきたいと思っております。
- その順番に当たって行って、当然１番の方が受けていただけるということになれば、